

学校と地域が力を合わせて子どもを笑顔に**「地域とともにある学校づくり」**

本校に学校運営協議会が設置され今年度で3年目となります。委員は、名簿にございますように、保護者の代表や地域住民の代表を中心に統括地域コーディネーターを加えた組織で、これまで以上に地域の声や地域の教育力を学校運営に積極的に生かし、地域と一体となって児童生徒を育成する「地域とともにある学校づくり」を推進していく組織です。

協議会では、学校の要望や課題に耳を傾け、学校と地域で一緒に知恵を出し合い、要望の具体化や課題解決に向けた活動を行っています。例えば、ふるさとウォーク計画立案の支援や運営、学校地域応援団^(*)との連携・協働などの実績があります。

【令和7年度 葛生義務教育学校「学校運営協議会」委員名簿】

1	〇〇 〇〇	秋山	委員長（地域代表）
2	〇〇 〇〇	葛生西	副委員長（統括地域コーディネーター）
3	〇〇 〇〇	鉢木	地域代表
4	〇〇 〇〇	中	地域代表
5	〇〇 〇〇	仙波	地域代表
6	〇〇 〇〇	鉢木	主任児童委員
7	〇〇 〇〇	柿平	PTA 会長
8	〇〇 〇〇		葛生義務教育学校長

【第1回学校運営協議会 開催】

5月29日（木）葛生義務教育学校で、第1回学校運営協議会が開催されました。今回は学校長より、今年度の学校運営の基本方針説明を受け、協議し承認をしました。

【協議した主な内容】

① 6年生の責任感が薄れるのではないかと懸念があったがその後、どうか。

学校長 → 前期課程のリーダーであり、これまで同様活躍できる場は設定していく。一方で本校の特色でもある9年間を一体として捉えると、1～4年生（基礎期）、5～7年生（充実期）、8・9年生（発展期）の3期で分け、各期の最高学年である4、7、9年生でも責任感やリーダーシップが育めるような機会を設定する研究を始めている。

② 人権に関する学校評価の保護者の結果が8ポイント下がったとあるが、どういう対応していくのか。また、いじめ等の現状はどうか。

学校長 → 学校での取組が上手く伝わっていないことも考えられる。今年度は、全学級で人権を題材とした道徳の授業を保護者会時に実施し、家庭で人権について話す機会になればと考えている。いじめについては、毎月、悩み調査を実施している。いじめ・いじり・悩み・トラブル等含めて訴えがあった時は、学校長を委員長としたいじめ対策委員会を開催し、組織的に取組、早期解決に努めている。

（*）学校地域応援団：地域や保護者の皆様で作るボランティア応援団で、読み聞かせなどの学習支援や地域の文化・自然に触れるなどのふるさと学習支援、子どもたちのための活動をしています。